

# 調査結果の概要

## 1 農業経営体数

平成19年2月1日現在における農業経営体数は186万7千経営体で、販売農家数は181万3千戸、このうち、主業農家数は、38万7千戸となっている。

表1 農業経営体数及び販売農家数

単位 { 経営体数 : 千経営体  
農家数 : 千戸  
比率 : %

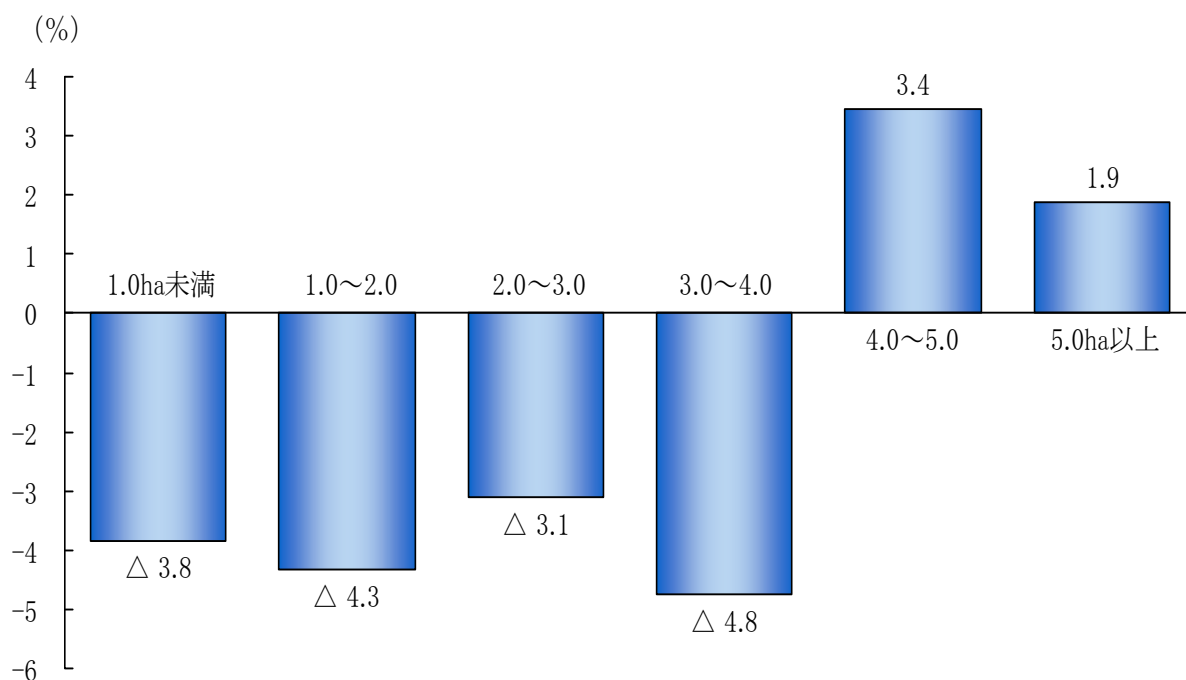
		農業経営体	販売農家	主業農家	準主業農家	副業的農家
平.19		1 867	1 813	387	411	1 014
18		1 936	1 881	405	447	1 029
増減率	平.19/18	3.6	3.6	4.4	8.1	1.5

## 2 販売農家

### (1) 経営耕地面積規模別農家数

経営耕地面積規模別農家数は、北海道では前年並みとなったものの、都府県では4.0ha未満の全ての階層で減少したのに対して、4.0~5.0haの階層で3.4%、5.0ha以上の階層で1.9%増加した。(詳細は、統計表P20参照)

図1 経営耕地面積規模別農家数の対前年増減率  
(販売農家・都府県)

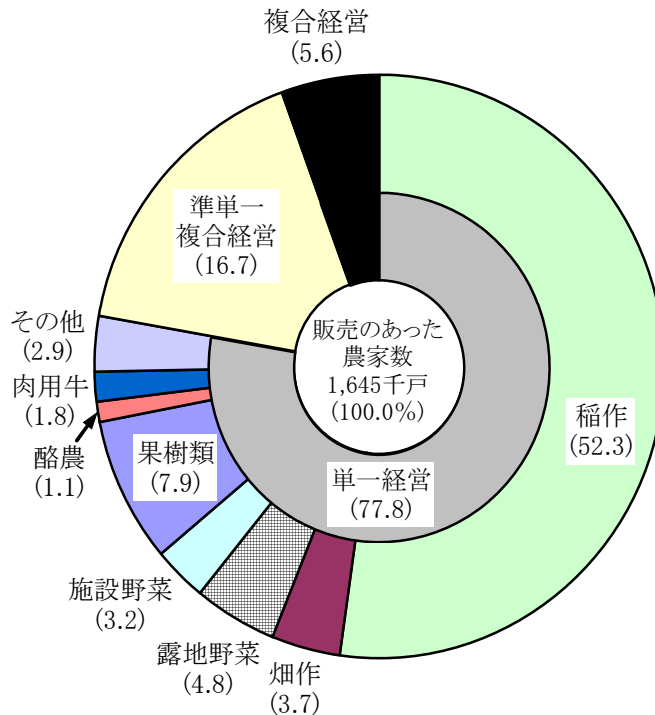


(2) 農業経営組織別農家数

農業経営組織別農家数割合は、単一経営農家が77.8%、準単一複合経営農家が16.7%、複合経営農家が5.6%となっている。

また、全体の52.3%が稲作単一経営農家となっている。

図2 農業経営組織別農家数割合（全国）



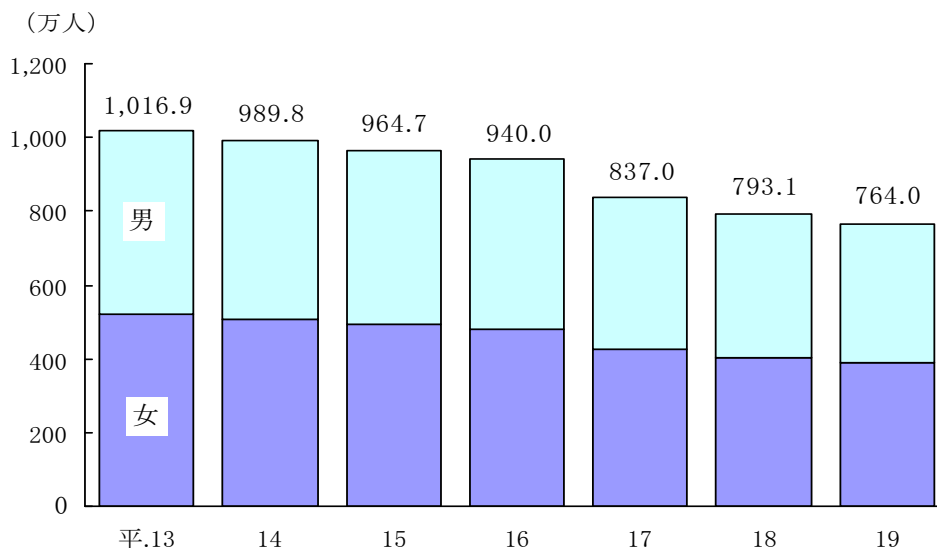
3 農家人口、就業構造

(1) 農家人口

農家人口（農家の世帯員数）は764万人で、前年に比べ29万1千人（3.7%）減少した。

また、男女別にみると、男性が375万3千人、女性が388万7千人で、それぞれ前年に比べ、14万2千人（3.6%）、15万人（3.7%）減少した。（詳細は、統計表P30、31参照）

図3 男女別農家人口の推移（全国）



注：17年は2005年農林業センサス結果である。

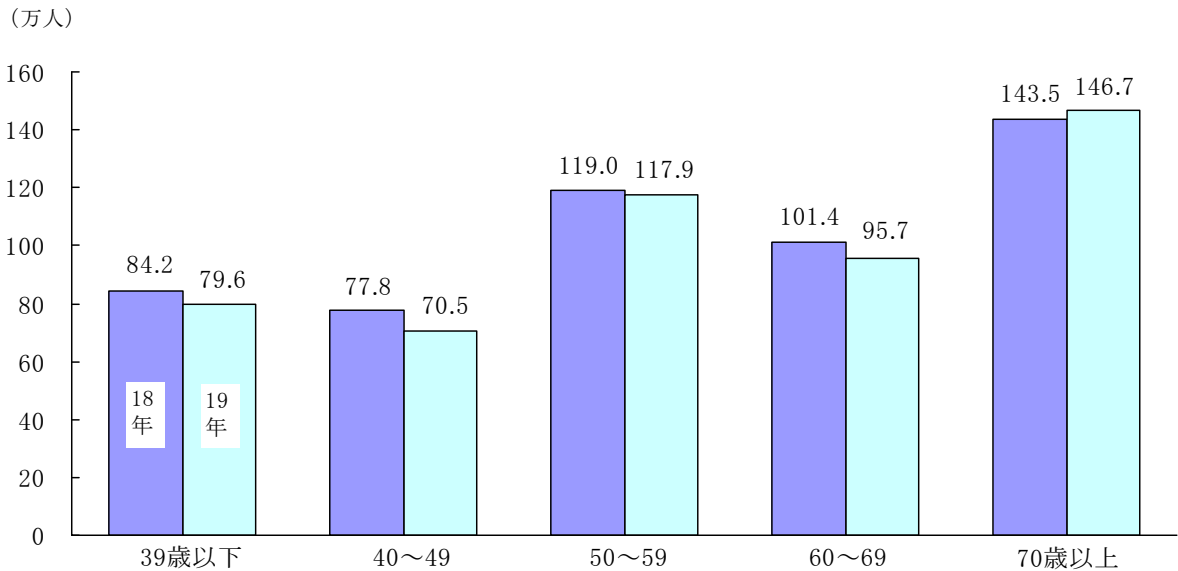
## (2) 就業構造

### ア 農業従事者数

農業従事者数は510万4千人で、前年に比べ15万4千人(2.9%)減少した。(詳細は、統計表P36参照)

これを年齢別にみると、70歳以上の階層で増加したものの、他のすべての階層で減少した。

図4 年齢別農業従事者数の推移(全国)

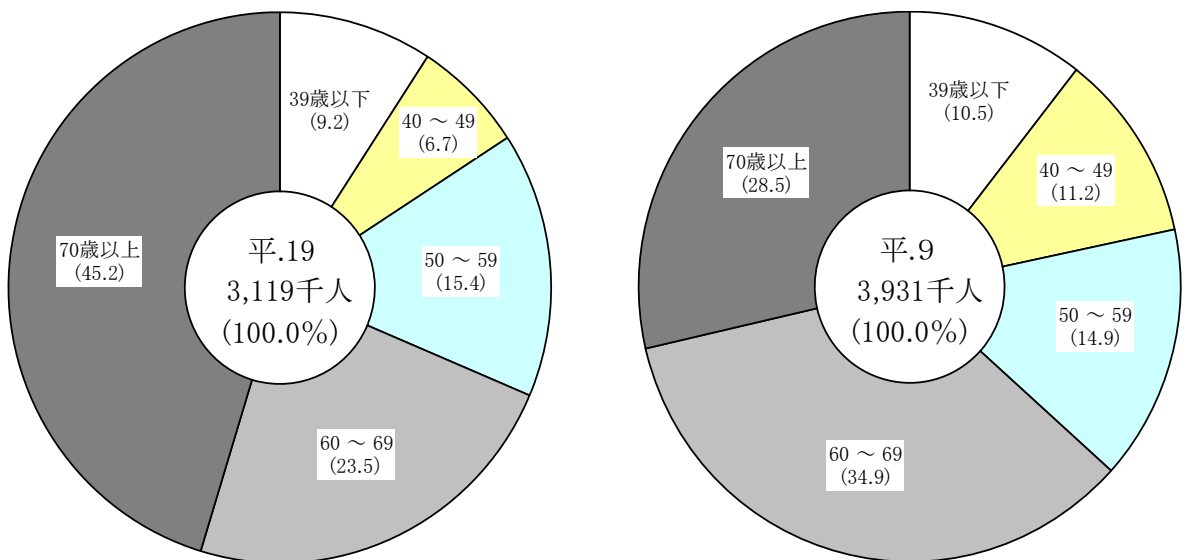


### イ 農業就業人口

農業就業人口は311万9千人で、70歳以上の階層が全体の45.2%を占めた。

これを10年前と比較すると、70歳以上の占める割合が28.5%から16.7ポイント増加し、年齢階層別にみて全体に占める割合が最も高くなっている。

図5 年齢別農業就業人口割合(全国)



### ウ 基幹的農業従事者数

基幹的農業従事者数は202万4千人で、前年に比べ8万1千人(3.8%)減少した。

(詳細は、統計表P46参照)

これを年齢別にみると、70歳以上の階層で0.9%増加したものの、他のすべての階層で減少し、特に40～49歳、60～69歳の階層では、それぞれ10.6%、9.9%の減少となった。

図6 年齢別基幹的農業従事者数の対前年増減率(全国)

